

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## “休みの日、何をして楽しもう？” 湧(ゆう)ゆう湧(わ)くわく体験塾が「クリスマスリース」を作りました

湧ゆう湧くわく体験塾では、12月16日に文化センターTOMで町内小学校4年生から6年生の24名の塾生が「クリスマスリース」づくりに挑戦しました。この日は遠軽町の網走西部森林管理署の職員5名を講師にお招きし、森の素材を生かしたクリスマスリースを作りました。森林管理署の方に、夏のうちから集めてストックしていた素材を提供していただき素敵ナリースが出来上がりました。

初めに、リースの土台となる「輪」に「ドライフラワー」「松ぼっくり」「ドングリ」「松の枝・葉」などの森の素材とオーナメント等の飾りを選び、バランスを考えてグルーガンで貼り付け、それぞれ工夫した作品に仕上げました。今回は6人グループで作業を行ったため、今まで話したことのなかった子ども同士で話したり、完成後に友達作品を見て感想を伝え合ったりするなど、交流が深まりました。



作品が完成した後は、ステージでそれぞれの作品を手に集合写真を撮り、講師の皆さんへお礼を伝えて体験活動を終了しました。最後に机の上や、椅子の片付けまで塾生が行いましたが、迎えやバスを待つ間に掃除を手伝ってくれる塾生もいました。

きっと、リースを飾り素敵なクリスマスを過ごしたことと思います。





明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## 町民300歳バレーボール大会が開催されました

12月3日に中湧別総合体育館にて、第48回町民300歳バレーボール大会が開催され、各自治会から約90名（7チーム）が集まり激闘を繰り広げました。

チーム9人の年齢が合計で300歳以上になるようにチーム編成を行い、1週間ほど前から練習し大会に挑んでおり、予選から力の入ったプレーや珍プレーに一喜一憂するなど大いに盛り上がりを見せていました。

特に決勝戦では、点が決まることに歓声が上がリ、見事なチームプレーを見せた「屯市チーム」が優勝を決めました。



大会結果	
優勝	屯市チーム
準優勝	南町チーム
第3位	北町・中町・旭チーム
	錦・川西・芭露チーム

## 「バレーエッセイ」社会教育委員のある一日 第157回

芭露の水芭蕉、鶴沼のアッケシソウ…四の一の川上神社にはニリンソウとクルマバソウ…などなど。町には、自生の草花が群れをつくって咲いているところが数多くあり、開花を見計らって訪ねるのを、毎年、楽しみにしています。

その中の1つに、シブツナイのエゾカワラナデシコの群落があります。シブツナイ湖とオホーツク海に挟まれた地が、ピンクの可憐な花でおおわれた群落の様は、驚くほど広く遠くまで続き、初めて目にした時の興奮…感動は、今も鮮明に心に残っています。

植物は、環境の変化に敏感だと聞きます。道新でも大きく紹介されたシブツナイのエゾカワラナデシコの群落は、1年ごとに緑と隙間が目立つようになり、ピンク一色に輝いていた壮大な絶景を目にすることができなくなりました。かつてサギ沼周辺にはヒオウギアヤメの群落があったそうです。

青紫のエゾエンゴサクや白いエンレイソウ、五鹿山には、北国の季節を彩る花が小さな群落をつくって咲いています。今年も、雪が融けるのを待って、まずは、五鹿山の福寿草に会いに出かけます。

社会教育委員 梅田 唯士

高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

# チューリップ生きがい大学 12月の活動は「クラブ活動発表会」

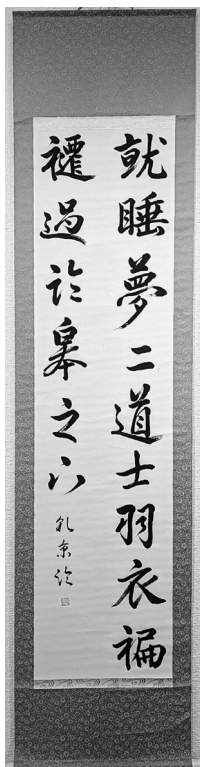


チューリップ生きがい大学は12月6日、日頃の練習の成果を発表する「クラブ活動発表会」を実施しました。生きがい大学の9回目の活動日となるこの日は、「大正琴」「カラオケ」「合唱」「リズムダンス」の4クラブの発表があり、「書道」クラブはさざ波ギャラリーで作品展示を行いました。開会式では来賓の刈田町長から「日ごろの練習の

成果を発揮され楽しい一日にしてください。」と激励のご挨拶をいただきました。また、日ごろからクラブ活動講師として指導いただいている、遠軽町在住の谷藤先生(合唱)、金川先生(合唱、大正琴)も来賓として駆けつけてくださいました。

この日、出演者の方から「いつになっても、舞台上でスポットライトを浴びての発表は緊張する。でも、この日に向かって仲間と一緒に練習することが楽しみでもあり、良い目標になっている」と話があり、この日を楽しみにしていた様子が伝わりました。当日は69名の学生と地域の仲間が出演するのでぜひ見せて頂きたいという方も含め85名以上の参加者がありました。

生きがい大学では、この日発表のあったクラブのほかにも昨年度末に「健康体操」、今年度に「花あそび」の二つのクラブが新設になっています。また、現在休部中ですが「社交ダンス」クラブも部員を募集中です。音楽の好きな方、体を動かすのが好きな方、アクセサリ作りが好きな方、書道の好きな方、生きがい大学の「クラブ活動」で仲間とワイワイ楽しく活動しませんか。お待ちしております。



書道クラブ



書道クラブ



カラオケクラブ (中田幸雄さん)



合唱クラブ



リズムダンスクラブ



芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

## こどもアート体験事業「子ども演劇ワークショップ」が開催されました

11月25日～26日の2日間にわたって、町内小学校3年生～6年生を対象に「子ども演劇ワークショップ」が文化センターさざ波で開催されました。講師には多摩美術大学で専任講師を勤める柴幸男さん（劇作家・演出家）の他、同大学に通う学生の方もアシスタントとして参加していただきました。参加した全7名の児童は、演劇についての学びを深める充実した体験となりました。



2日間を通して「演劇を遊ぶ」「見る」「作ってみる」の三つに分けた体験に参加。「演劇を遊ぶ」では、レクリエーションを通して全体を見る力を養い、他の人と協力する大切さについて学びました。「見る」では実際のお芝居を見て、「作ってみる」では、リメイク劇として用意された原作「にんじゃ」「足で雪を見る」を自分たちで考え、新たな作品にリメイクするという挑戦をしました。全員がそれぞれ意見を出し合い作品を作り、実際に演じて作品を完成させました。

## 就学援助制度のお知らせ

経済的理由により、お子様に義務教育を受けさせることが困難な保護者の方へ、学用品などの経費を援助する制度があります。

対象となる方は、湧別町内にお住まいで、世帯の収入状況が生活保護の基準とほぼ同程度の方です。

援助を希望される方は、現在通学している小・中・義務教育学校、もしくは入学予定の小学校、義務教育学校にお申し出の上、必要書類を提出してください。

なお、不明な点がありましたら、教育総務課学校教育グループにお問い合わせください。

**連絡先 教育総務課学校教育グループ 電話5-3143**



図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

## 司書の仕事「レファレンス(調べもの)」から

12月8日、利用者の方から「上湧別小唄」についてのレファレンス(調べもの)がありました。

図書館では、郷土に関するレファレンスが多くあります。昭和54年発行の「上湧別町史」や近隣の市町史を調べました。そこには、昭和10年頃に地方の小唄、音頭ブームがあり、上湧別小唄が作られたと記載がありました。作詞作曲は当時管内の教員だった大塚郷湖(きょうこ)と松田喜一、美幌などにも作品があります。

「上湧別小唄」 作詞：大塚郷湖 作曲：松田喜一 振付：須貝麟太郎

<一章>  
 さくら躑躅の色香も燃えて 呼ばか猿潤湖招こか白帆 花の五鹿山春霞 アー花の五鹿山春霞

<二章>  
 香る鈴蘭牧場のさ霧 晴れて逢ふ日は開盛の丘に 響く郭公の夏の唄 アー響く郭公の夏の唄

<三章>  
 月に田毎に想ひは夜毎 逢へばほんのり情の袖に こもる薄荷の香が恋し アーこもる薄荷の香が恋し

<四章>  
 来たか初秋林檎の枝に 熟れて花嫁紅さす頃は 乙女心の美も熟れる アー乙女心の美も熟れる

<五章>  
 雪の富美嶽吹雪の馬櫓 凍る想ひの手綱を執れば 愛し温泉の灯がかすむ アー愛し温泉の灯がかすむ

二章の歌詞を見てください。上湧別町史によると昭和10年頃、開盛駅の南方にスズランが広く群生していたようです。また、五章の富美温泉も今では歴史となっています。

「歌詞」の面白さは、当時の情景(歴史)を色濃く残しているところです。普段あまり気にせず読んでいますが、一つひとつ、言葉をかみしめて読んでみると味わい深い当時の情景が現れます。(当時の人が何を見て、何を大切に想っていたのかがわかります。)

今年、中学生から「この仕事(司書)になる前と、なった後で変化したことはありますか?」と質問を受けたとき、「郷土に興味を持つようになりました。」と答えたことを思い出しました。

## 中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日時】 2月3日(土曜日) 13:30～14:00  
 2月17日(土曜日) 13:30～14:00  
 ※読み聞かせ終了後、ひな人形飾りをします。

【場所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

### 2月の図書館休館日

2月5日(月曜日)、12日(月曜日)、19日(月曜日)、26日(月曜日)、29日(木曜日)

\*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150  
 lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122  
 lib-y@town.yubetsu.lg.jp



博物館シリーズ  
—博学連携—

# 屯田兵の服装

博物館だより  
—ふるさと館 JRY・郷土館—  
【第168号】



## ゆうべつ学の疑問 屯田兵の服とは？

令和5年11月22日ゆうべつ学園後期課程の2名が「ゆうべつ学」の学習のためにふるさと館JRYを訪れました。「ゆうべつ学」は各自が設定した課題を探究して、湧別町の魅力を知る学習です。  
一人の生徒の課題が「屯田兵の服装」でした。そこで今回は屯田兵の服装について資料を紹介しながら、解説していきます。

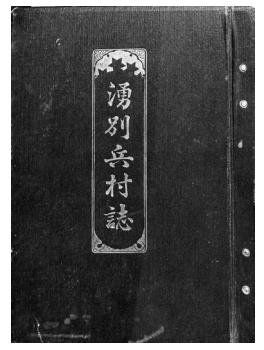


複製の制服を調査中の生徒

## 屯田兵の服装は？

湧別屯田兵の衣服でふるさと館JRYに展示しているのは複製の制服と当時の作業服です。当時の資料は作業服だけということになります。布が貴重だった時代の衣服の資料は貴重です。

当時の服装がわかる資料といえば、「湧別兵村史」大正10年です。湧別屯田の兵士を紹介するページがあり、一人一人の写真が掲載されています。その写真は、大正10年ということもあり、屯田兵現役期間中、日露戦争時、退役後と様々です。湧別屯田の制服を知る上で、貴重な資料となっています。掲載されている写真を見てみましょう。



『湧別兵村史』



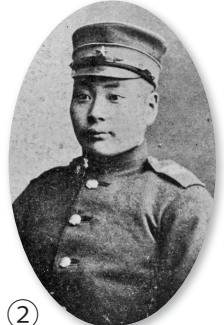
複製の制服



作業服



①



②



③



④



⑤

①・②は湧別屯田時代の明治19年製の軍服。胸ポケットの有無に注目してください。当時は軍服を改造することが許されていました。③・④が夏用の軍服です。もともとは白色でしたが、日露戦争の時には目立つので土色に染めて使用。日露戦争後に⑤のようなカーキ色の軍服が使われるようになりました。

これらの写真をもとに書かれた屯田兵肖像画をJRYに展示しています。湧別屯田兵399名中、382名の肖像画があり、明治から大正の頃の軍服の変化をみることができます。ぜひ、見に来てください。

## 湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2024年1月号 No.168

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷(中湧別南町)発行…令和6年1月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

- \* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710  
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp
- \* 湧別図書館……………電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256
- \* 中湧別図書館……………電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190
- \* ふるさと館 JRY……………電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200